

プロフィール



ほしの とみひろ
星野 富弘

- 1946 年 群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。
- 1970 年 群馬大学教育学部保健体育科卒業。
中学校教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄を損傷、手足の自由を失う。
- 1972 年 病院に入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める。
- 1979 年 前橋で最初の作品展を開く。退院。
- 1981 年 結婚。雑誌や新聞に詩画作品や、エッセイの連載を始める。
この頃から全国各地で「花の詩画展」を開催。
- 1991 年 東村に村立富弘美術館開館（現みどり市立「富弘美術館」）。
- 1994 年 休止していた「花の詩画展」を、熊本県立美術館での開催を境に再開。負傷後初めて飛行機に乗って熊本を訪問。
以後ニューヨーク、ホノルル、ロサンゼルス、ワルシャワなど海外でも開催。
- 2006 年 芦北町立星野富弘美術館開館。
群馬県名誉県民の称号を贈られる。
- 2011 年 群馬大学特別栄誉賞（第一回）受賞。
- 2021 年 富弘美術館開館 30 周年。
芦北町立星野富弘美術館開館 15 周年。
- 2024 年 4 月 28 日逝去（享年 78 歳）。

詩画やエッセイは教科書にも掲載され、詩は作曲され多くの人に歌われている。現在も全国で「花の詩画展」を開いている。

＜主な著書＞

「愛、深き淵より。」「風の旅」「かぎりなくやさしい花々」「鈴の鳴る道」「速さのちがう時計」「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「山の向こうの美術館」「種蒔きもせず」「いのちより大切なもの」「詩画とともに生きる」「あの時から空が変わった」「足で歩いた頃のこと」等

芦北町立星野富弘美術館

休止されていた「星野富弘 花の詩画展」が、1994 年の熊本県立美術館での開催を境に再開されます。それが契機となり、その 1 年後に「星野富弘詩画がある芦北ふるさとギャラリー」が芦北町に開設。以後、交流が続くなかで富弘美術館（群馬県みどり市）の唯一の姉妹館として、2006 年に「芦北町立星野富弘美術館」が誕生しました。当美術館は、星野富弘の詩画作品を常設展示しています。皆様には、星野の描いた「いのちの尊さ・いのちの輝き」を感じていただければ幸いです。

開館時間・観覧料

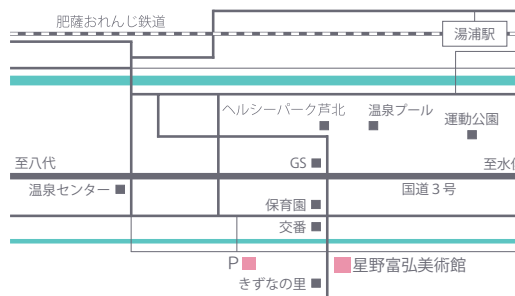
開館時間	午前 9 時～午後 5 時
休 館 日	第 2・4 月曜日（祝日の場合は翌平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） その他燻蒸作業に伴う臨時休館有り
観 覧 料	一般 500 円（400 円） 小中学生 300 円（260 円） 幼児 無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体 ※障がい者手帳等お持ちの方は半額 ※学校の団体利用による割引有り

団体予約は
こちらから



交通アクセス

高速道路	南九州西回り自動車道 ・「芦北 I C」下車⇒星野富弘美術館 [15 分] ・「津奈木 I C」下車⇒星野富弘美術館 [15 分]
電 車	肥薩おれんじ鉄道 ・「湯浦駅」下車⇒星野富弘美術館 [徒歩 15 分] ・「佐敷駅」下車⇒星野富弘美術館 [車 10 分]
新 幹 線	J R 九州新幹線 ・「新水俣駅」下車⇒星野富弘美術館 [車 20 分] ・「新八代駅」下車⇒星野富弘美術館 [車 45 分] ※肥薩おれんじ鉄道「新水俣駅」⇒湯浦駅 [15 分] ※肥薩おれんじ鉄道「新八代駅」⇒湯浦駅 [55 分]



※バス等の駐車については、当館までお問い合わせください。

芦北町立星野富弘美術館

〒869-5563 熊本県葦北郡芦北町湯浦 1439-2
TEL: 0966-86-1600 FAX: 0966-86-1600
<http://www.hoshino-museum.com>

（姉妹館）富弘美術館・群馬県みどり市東町草木 96 TEL: 0277-95-6333 FAX: 0277-95-6100



芦北町立 星野富弘美術館



展覧会スケジュール

2025 - 2026

季節の常設展／特別展

季節の常設展では、四季をテーマとする作品の数々をご覧ください。また、特別展では、星野富弘の様々な詩画の世界をご堪能いただけます。

▶ 6.22^{〔日〕}

季節の常設展「春・初夏」

富弘作品には、四季折々に咲く花や草木が描かれています。本展では、「さくら」や「たんぽぽ」など、春・初夏の草花を題材にした作品を紹介します。

6.24^{〔火〕} ▶ 9.21^{〔日〕}

特別展「花と咲く日」



「ポピー」1997年

日常の生活を彩ってくれる花は、わたし達に小さな幸せと癒しを与えてくれます。時には、自分自身と花を重ねて勇気をもらうことだってあります。

本展では、「ポピー」や「すいせん」など、花自身が持つ優しさや力強さ等を描いた作品を特集展示します。

季節の常設展「夏」

「ふうちょうそう」や「紫陽花」など、夏を彩る草花を題材とした作品を紹介します。

9.23^{〔火〕} ▶ 12.7^{〔日〕}

特別展「詩画に明日を託して」

星野富弘氏の詩画制作の原点などが紹介されている著書『愛、深き淵より。』を題材とし、9年間に及ぶ入院生活の苦悩や詩画を描く喜びに焦点をあてた作品を特集展示します。

季節の常設展「秋」

「コスモス」や「小菊」など、秋を題材とした作品を紹介します。

12.8^{〔月〕} ▶ 12.10^{〔水〕}

臨時休館
(館内燻蒸のため)



「ばら」1978年

12.11^{〔木〕} ▶ 2026.3.8^{〔日〕}

特別展「あなたへの葉書」

花や草木は、わたし達に季節の便りを日常的に送ってくれます。

季節の寒暖の変化を肌で感じ、草花では、視覚的に感じるができます。

本展では、「葉書」や「ルリヤナギ」など草花から季節を感じるメッセージ溢れる作品を特集展示します。



「葉書」2011年

季節の常設展「冬」

「椿」や「難転」など、冬の草花を題材とした作品を紹介します。

2026.3.10^{〔火〕} ▶ 6.21^{〔日〕}
季節の常設展「春・初夏」

本展では、春・初夏の草花を題材とした作品を紹介します。

2026.3.10^{〔火〕} ▶ 4.26^{〔日〕}
第19回星野富弘美術館
詩画公募展入賞作品展

第19回詩画公募展において選出された全ての優秀作品を展示します。全国各地から届く、一人ひとりの体験や感性が表現された詩画作品をご覧ください。



「おいしいお花」
中田 俊南
宮崎県諸塚村立諸塚小学校 1年
小学生の部



「どの葉っぱにも負けない大きな葉っぱ」
遠坂 梨心
芦北町立田浦中学校 2年
中学生の部



「うちの「ちゃ」」
松山 奈々瀬
九州ルーテル学院大学
一般の部
※すべて第18回公募展入賞作品

詩画作品募集！

第19回星野富弘美術館詩画公募展

絵と言葉をひとつの画面に収めた詩画を、広く一般に普及させるとともに、地域の芸術文化の発展向上に寄与することを目的に、詩画公募展を実施します。一人ひとりの体験や感性から生まれるオリジナルな詩画の優秀作品を顕彰します。

応募期間：12.1^{〔月〕} ▶ 2026.1.31^{〔土〕}
応募規定：出品者本人の体験や感性から生まれるオリジナルな詩画作品であること。

※その他詳細は、募集要項をご確認ください。
※募集要項は、チラシや美術館HP等に後日掲載します。